

横浜弁護士会新聞

発行所
横浜弁護士会
横浜市中区
日本大通9番地
☎045-211-7707
URL <http://www.yokoben.or.jp/>

臨時総会開催のご案内
日時 平成27年12月9日(水) 13時～
場所 関内ホール 小ホール



横浜弁護士会は
2016年4月1日
「神奈川県弁護士会」
になります。

横浜国立大学との共催研修会

著作権法の連続講座からスタート

田淵エルガ准教授

長今村与一教授から開催を祝する挨拶があった。第1回のテーマは『最新著作権制度の概要』、第2回は『著作権侵害訴訟における主な争点と最近の裁判例』(9月24日開催)で、知的財産法(著作権法)連続講座である。

より著作権で保護されるものの創作や伝達、利用のされ方に大きな変化が起きており、これに対応して制度も変貌を遂げている。

9月1日の講演では、知的財産権制度の全体像から、著作物の定義、著作物の権利の内容、他人の著作物を利用する方法、著作権等が侵害された場合の救済措置等について、ひこにゃん事件控訴審、JASRAC審決取消訴訟、自炊訴訟等、注目を集める近時の裁判例について、質問が相次いだ。

例や、電子書籍に対応した出版権の整備、違法なインターネット配信からの音楽・映像のダウンロード違法化等の近時の法改正、権利制限の一般規定(いわゆる日本版フェアユース)導入に関する議論等についても触れながら、最新の制度について解説された。講演後、参加者からは、書籍の原稿を執筆するにあたっての引用等について質問が相次いだ。

児童虐待研修会

児童虐待問題を理解し実践的な対応を学ぶ

弁護士守秘義務規定は、通告義務の遵守を妨げるものと解釈してはならないとされていることから、原則として通告すべきであることが説明された。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

9月1日、横浜国立大学との共催研修会がスタートし、当会会館で第1回研修会が開かれた。この研修会は、当会と横浜国大との間で昨年結ばれた包括連携協定に基づいて企画され、横浜国大法学部大学院の修士生に対する継続教育を兼ねている。今年度は全7回開催予定である。

冒頭に竹森裕子会長と横浜国大大学院の法律系で企画され、横浜国大法学部大学院の修士生に対する継続教育を兼ねている。今年度は全7回開催予定である。

講師は横浜国大の田淵エルガ准教授である。文部省著作権課や国連の専門機関である世界知的所有権機関等における勤務を経て現職に就かれた。デジタル技術の進展やインターネットの普及等に

争発生後の解決に困難を伴い、コストもかかる。島津圭吾会員は、「海外案件では特に、契約書チェックをはじめとする予防法務が大切」と語った。

井澤秀昭会員は、「国内業務しか行っていない弁護士でも顧問会社から海外展開支援の依頼が来ることはある。また、海外展開支援の依頼がきっかけで、顧問や国内業務に関する依頼が来ることも考えられる」と話し、広い視野で海外展開支援

日 家族法第2回「遺産分割の問題点―「破産」判決を中心に―」▼平成28年1月19日 国際開発「法整備支援における法律家の役割―法律知識をグローバルに活かす方法」▼2月1日 労働法「労働法規範と個別同意の関係―最新労働判例から」▼3月7日 環境法(副題未定)

8月5日、当会会館にて、子どもの権利委員会主催で、研修会「児童虐待問題の基本と実務」が行われた。

研修では、児童虐待事件の経験が豊富な藤田香織会員を講師として、経験に裏付けられた助言を含めた網羅的な説明がなされた。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

井澤秀昭会員は、「国内業務しか行っていない弁護士でも顧問会社から海外展開支援の依頼が来ることはある。また、海外展開支援の依頼がきっかけで、顧問や国内業務に関する依頼が来ることも考えられる」と話し、広い視野で海外展開支援

日 家族法第2回「遺産分割の問題点―「破産」判決を中心に―」▼平成28年1月19日 国際開発「法整備支援における法律家の役割―法律知識をグローバルに活かす方法」▼2月1日 労働法「労働法規範と個別同意の関係―最新労働判例から」▼3月7日 環境法(副題未定)

8月5日、当会会館にて、子どもの権利委員会主催で、研修会「児童虐待問題の基本と実務」が行われた。

研修では、児童虐待事件の経験が豊富な藤田香織会員を講師として、経験に裏付けられた助言を含めた網羅的な説明がなされた。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

8月5日、当会会館において、弁護士業務改革委員会主催で、「当会会員による中小企業の海外展開支援」をテーマにしたセミナーが実施された。同セミナーでは、中小企業の海外展開支援業務を扱う当会会員がパネリストを務め、同業務の具体的内容や必要な準備、受任のきつかけなどについて、各パネリストの経験を交えた話がされた。

井澤秀昭会員は、「国内業務しか行っていない弁護士でも顧問会社から海外展開支援の依頼が来ることはある。また、海外展開支援の依頼がきっかけで、顧問や国内業務に関する依頼が来ることも考えられる」と話し、広い視野で海外展開支援

日 家族法第2回「遺産分割の問題点―「破産」判決を中心に―」▼平成28年1月19日 国際開発「法整備支援における法律家の役割―法律知識をグローバルに活かす方法」▼2月1日 労働法「労働法規範と個別同意の関係―最新労働判例から」▼3月7日 環境法(副題未定)

8月5日、当会会館にて、子どもの権利委員会主催で、研修会「児童虐待問題の基本と実務」が行われた。

研修では、児童虐待事件の経験が豊富な藤田香織会員を講師として、経験に裏付けられた助言を含めた網羅的な説明がなされた。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

当会会員が語る

中小企業の海外展開支援の実情と展望

海外が関係する案件は、国内の案件以上に紛

争発生後の解決に困難を伴い、コストもかかる。島津圭吾会員は、「海外案件では特に、契約書チェックをはじめとする予防法務が大切」と語った。

井澤秀昭会員は、「国内業務しか行っていない弁護士でも顧問会社から海外展開支援の依頼が来ることはある。また、海外展開支援の依頼がきっかけで、顧問や国内業務に関する依頼が来ることも考えられる」と話し、広い視野で海外展開支援

日 家族法第2回「遺産分割の問題点―「破産」判決を中心に―」▼平成28年1月19日 国際開発「法整備支援における法律家の役割―法律知識をグローバルに活かす方法」▼2月1日 労働法「労働法規範と個別同意の関係―最新労働判例から」▼3月7日 環境法(副題未定)

8月5日、当会会館にて、子どもの権利委員会主催で、研修会「児童虐待問題の基本と実務」が行われた。

研修では、児童虐待事件の経験が豊富な藤田香織会員を講師として、経験に裏付けられた助言を含めた網羅的な説明がなされた。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

また、通告を受けた児童相談所は一時保護等の福祉法的支援を行い、弁護士は告訴・告発等の刑事法的支援や、親権者変更等の民法(家族法)的支援を行うことが教示された。

左から、島津会員、井澤会員、佐藤会員

講師の藤田香織会員

山ゆり

何年か前にパラオ共和国に観光で行った。まだパラオが世界遺産に登録される2012年より前で、正直、あまり知らない国であった。日本から直行便だと約4時間半で行ける、比較的近い南の島である▼パラオではダイビングなどが有名であるが、耳抜きが下手で、3メートルしか潜れないため、海上を通る船やボートに気を付けないといけなかった。パラオでは海だけでなく、山も良かった。日本語の上手な現地のガイドと他のツアー客と一緒に、山の中を歩き回り、川や小さな滝壺みたいなところに飛び込むという、まるで子どものような遊びが、とても楽しかった▼パラオの大きな橋や道路を通ると、日本の企業名が多く書かれていた。ガイドの話では、日本のODAによって造ったもので、当時は日本企業が多く来て、日本人もたくさん来ていたとのことであった。そのせいか、スーパーにもいろいろななどの日本製品が多くあった。レストランも日本人好みの味付けだったし、日本にもあればいいのと思う美味しい料理であった▼日本から近く、昔の日本を思わせるところもあり、ぜひまた行きたいが、世界遺産登録後、人気がとても高まっているとのことだ。(古西 達夫)

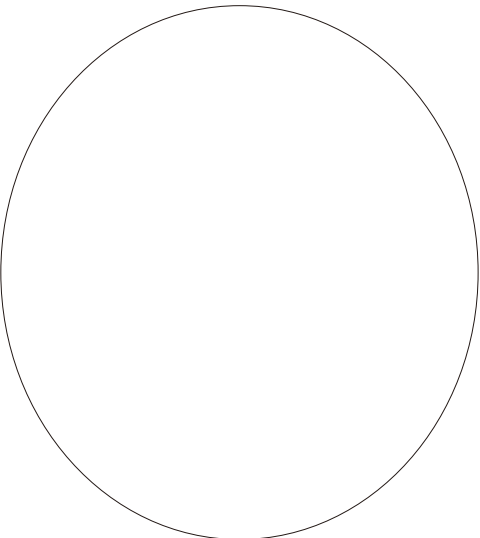


戦後70年と横浜軍事裁判

第4回

「バターン死の行進」事件
と柴田次郎

会員 間部 俊明



柴田次郎弁護士

局本移送終了まで米軍俘虜約1200名、フィリピン軍俘虜約1万名の死亡に寄与したなどという罪状での起訴だった。

この重い事件の弁護人となったのが、柴田次郎(昭和45年度当会会長)である。昭和23年6月29日、2人を絞首刑とする判決が言い渡され、昭和24年2月に執行された。

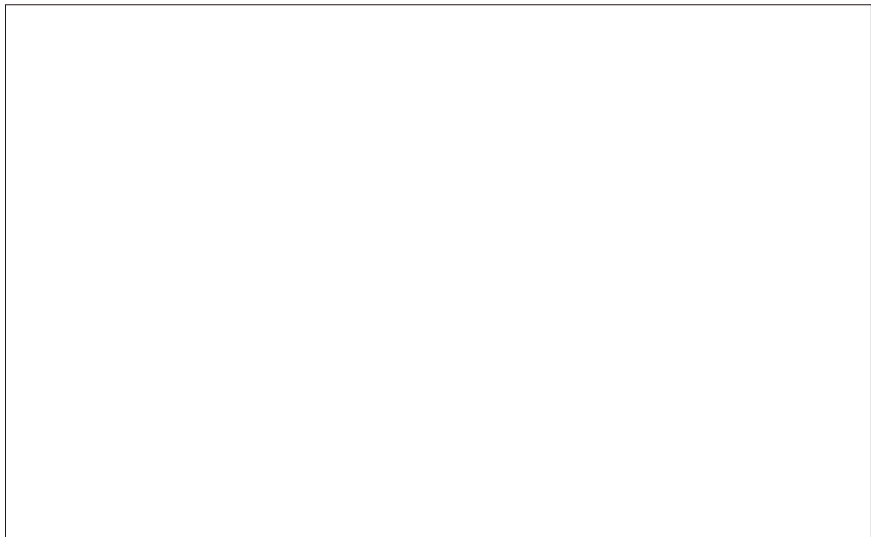
柴田は、明治44年4月生まれで、昭和10年司法官試補となり、昭和12年判事となった。昭和22年に退官し、同年5月、当会に入会した。当時36歳だった。

昭和33年に行われた法務省の聞き取り調査に対し、柴田が語った言葉が残されている。「軍の作戦上からでた窮余の策で、輸送機関はなく当時の状況から指揮官としてはどうにもならなかったと思う」。アメリカの弁護人とともに頑張ったが、「本国の世論が大きく影響していてどうにもならなかった」。「この2人はすでに覚悟をしてお

今年4月、首相がアメリカ議会で行った演説の中に「バターン」という言葉が出てきた。「バターン死の行進」については本間中将がマニラの軍事裁判で起訴され、昭和21年4月3日、銃殺刑が執行されていた。

その関連事件として少将と大佐が横浜法廷に起訴されたのが268号事件である。在フィリピン第14軍第3輸送隊司令官であるK少将及びその指揮下にある同軍第61兵站地区隊長であるH大佐は、昭和17年4月9日より同月27日に至る間、ルソン島バターン半島より

米軍俘虜及びフィリピン軍俘虜を同島サンフェルナンドに移送するに当たり、炎天下長距離を行軍させ、いわゆる「死の行進」を強制し、同俘虜に必要な保護を怠り、かつこの間コレヒドールからの砲火の危険に晒し、また移送途上充分なる食糧等を供給せず、かつ殴打等の虐待を加えたほか米軍俘虜11名及び多数のフィリピン軍俘虜を刺殺または射殺し、更にはサンフェルナンドよりカパスまで同俘虜を有蓋貨車にて輸送するに当たり車窓を密閉して食糧を給与せざる等の虐待を加え、結



当時の横浜地裁特号法廷

られ、その態度は実に立派で、助命などしなかった」という。柴田は、「この裁判は、2人だけの裁判ではなく、日本全体が裁判されていたという気持ちがあった」と語る。

私は、平成9年5月、柴田に手紙を送り、BC級戦犯横浜裁判調査研究

(次回へ続く)

他士業団体等との懇談会

市民の
権利擁護
のために



川県不動産鑑定士協会及び神奈川県土地家屋調査士会との間では、会員の相互紹介協定が常議員会の承認を得て締結されており、これらの会に加え、神奈川県中小企業診断協会、神奈川県建築士会、神奈川県司法書士会及び神奈川県行政書士会との間では、各会会員を対象とした研修会が開催されている。

懇談会の後には、相談センター委員と各会担当者との間で懇親会が設けられることもあり、くつろいだ雰囲気の中で、双方の仕事の内容を語り合

できる場合もある。相談センターでは、士業間の連携を推進することで市民の権利擁護を充実させるとともに、非弁行為がなされない環境を整備するため、他の士業団体間で、各団体毎年3回程度の懇談会を開催している。懇談会では、各会の会員を相互に紹介する協定の締結、各会会員を対象とした研修会ないしは共同での相談会その他の交流事業等について意見交換を行うとともに、これらの協力・連携活動の前提として、双方がいかなる業務を行っており、いかなる業務が可能で、いかなる業務はできないのかについての理解を相互に深めることに意を払っている。

懇談の結果、東京地方税理士会、公認会計士協会神奈川県会、神奈川県社会保険労務士会、神奈

法律相談センター運営委員会(以下「相談センター」という。)では、平成25年度より、他の士業団体等との間で定期的な懇談の場を設け、適切な協力関係の推進に力を入れている。

他の士業がその本来の業務を行う中で、法的紛争に接する場合があるが、弁護士との連携が不十分であるため、これらの問題が弁護士に引き継がれないままとなり、市民の権利擁護が十分に図られないばかりか、時には他の士業が処理することにより、非弁の問題を生じさせ、市民の権利が害されるおそれがある。

また、弁護士が相談・依頼を受けた事件において、税務や登記、測量、賃金計算等、他の専門家の助力を受けることで、利用者により充実した総合的な対応を行うことが

神奈川県社会福祉士会との懇談会の様子

関東十県会夏期研究会報告

軽井沢で「自然」を学ぶ

8月29日、長野県の軽井沢において「自然をめぐる紛争と法律実務」をテーマに平成27年度関東

十県会夏期研究会が開催された。

前半は「自然をめぐる紛争」という広いテーマ

を「水、山、土、空気、生物、自然災害」という視点から分類し、それぞれのテーマごとに想定される法律問題を分析して報告がなされた。

神奈川県内では地域によつては「自然」を意識することは少ないようにも思っていたが、本報告で検討されていた水源、登山、農地、土壌汚染、災害時の対応といった紛争は県内でも少なくないはずで、法律相談で対応が必要になることも十分考えられるということに気づかされた。

また、冒頭に各テーマに関する賞品付きのクイズを出し、その後各テーマの解説をする中で正解の発表と解説が行われたほか、報告の方法

開会の挨拶をする高橋聖明長野県弁護士会会長

も2人の対話形式や、動画を用いるなど工夫されており、集中して楽しく学ぶことができた。

後半は講師に岡口基一東京高裁判事を迎え、環境に関する訴訟についての講演が行われた。

これまでの環境に関する訴訟を振り返るとともに、今後の環境訴訟の行方といった問題について有益な話を聞くことができた。

困難な問題に対して、司法はどう判断するか。社会的な関心の高い訴訟の判決言い渡しに臨むときは、いつも独特の緊張を覚える。画期的な司法判断が示されれば記者冥利に尽きるのだが、伝える立場としては締切との戦いも待っている。紙面製作の実務の裏側を少しご紹介したい。

ニュースが大きければ大きいほど、デスクからの原稿の取り立ても厳しくなるのが世の常。このため、注目される訴訟で何より大事になるのが判決内容を事前に予想し、原稿を書き上げておく「予定稿」

の準備だ。ネットでの速報や、そもそも一から原稿を書き始めるのでは間に合わないなどの事情

ただ、参考となる判例が少なかつたり、争点が多かつたりするような民事、行政事件になると、この準備に大変苦し

判決前の「苦勞」

苦こちら記者クラブ

があるためだが、どんな判決が出ても対応できるように何パターンも原稿を書いておく。

められることになる。「裁判官が質問していたからこ」がポイントか」「まさかないだ

報道部 川口 肇

新鮮な発見 貴重な体験

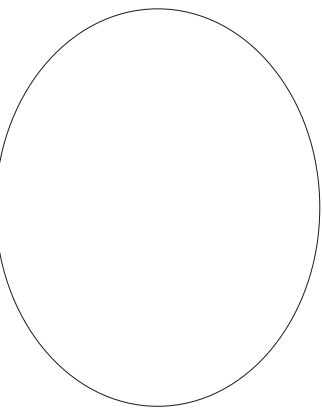
会員 塚本 力哉 (新63期)

常議員会

本年度、常議員に選任され、4月から常議員会に出席している。

常議員会においては、毎回、多くの議案が上程され、事前配布資料や当日配布資料が大部となる中、適正かつ適切な議事運営により、活発かつ充実した議論が展開されている。

会務に疎い若輩者の私であるが、常議員会の開



催に先立って送付される資料に目を通し、また、実際に常議員会に出席して議題と議案に接すると、依然として漠然とはしているものの、当会の立ち位置や当会が抱える問題点のようなものが徐々に見えてくるような気がして、毎回新鮮な発見と貴重な体験をさせて頂いている。

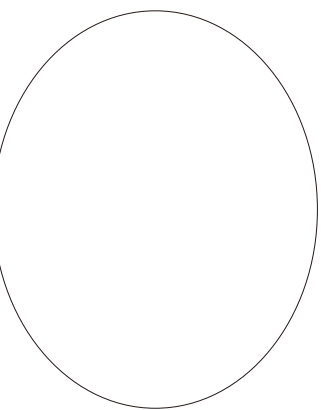
また、各議案の説明要員である会員らによる説明や、他の常議員からの意見・質問、それに対する理事者らによる回答といったやりとりを接する

今回は、8月号の「理事者室だより」の訂正記事でも書こうかと思いましたが、来年度副会長を引き受ける人がいなくなっても困るので、無難に今期の他の副会長を簡単に紹介

副会長である私が座っている。そして、私から見て左側に佐藤裕、佐藤正幸の両副会長が、右側に坂本副会長、杉本副会長が並ぶという配席となっている。

佐藤裕副会長は、事務局運営室などを担当して

杉本副会長は、調査室の経験があり、理事者会などでの意見にも安定感がある。最後の1人が別の人になっていたらならば、どうなっていたかという気がする。



副会長 妹尾 孝之

今期の副会長たち

筆頭の佐藤正幸副会長は、綱紀・懲戒や渉外関係など、重たい業務を担当しているが、飄々とそれをこなしている。正に「年の功」といった印象である。

坂本副会長は、支部出身の副会長であるにもかかわらず、波乱の通常総会に始まり、3月の何気ない業務分配で「会名変更」の担当にもなっていたことが発覚し、現在も予想外の業務量を抱えている。天空を支えるアトラスのごとき坂本副会長の努力により、今日も理事者室は回っている。

理事者室だより

いる。端から見ていると方々から誤解を受けているようで、ため息に比例してしばんていくようなのが心配である。理事者合宿の時に聞いた体重には「番付」変更かと少々焦ったが、どうやらそれは宿の風呂場の体重計が故障していただけだったらしい。

私の赤い

会員 大関 亮子

空を見るのが好きだ。どこにいても空ばかり眺めている。星(恒星)、惑星、月のみならず、国際宇宙ステーション(ISS)やイリジウムフレアなど、夜空に光る美しいものであれば大抵なんでも喜ぶ。肉眼で充分である。双眼鏡があればなおよい。その姿はかなり

空を見るという贅沢



テカボの星空
(カラーでお見せできなくて残念。)

怪しいが、職務質問を受けたことは幸いまだない。横浜や渋谷などの空に

都会を離れて星見の旅に出かけることもある。先般、ついに憧れの地「テカボ」を訪れた。テカボは、ニュージーランドの南島にある小さな町。星空の美しさで有名である。空の天辺に輝くみな

「よい可視パスがあるから」と私に唆されて、空を横切るISSに手を振るはめになったり、「月と土星が並んでいるから」と言われて、それが見える場所まで連行されたりした不幸…いや幸運な方も少なからずいらっしゃるはず。そのような目にあつてみたいという方は、ぜひお声がけを。一緒に空を楽しみましょう。

みじゆう座など、南半球ならではの降るような星空を堪能した。とにかく空は楽しい。夜空を眺めながら「隣りに合っているように見えるあの星たちも、実際に

には地球からの距離がそれぞれ全く異なるのだな」などと考える。宇宙の奥行きを感じるのもよい(たとえば夏の三大角だと、ベガ、アルタイル、デネブの中で、デネブが群を抜いて地球から遠い)。そのうちエンケラドスあたりに居を構え、土星のあの美しい環を日がな一日眺めながら余生を過ごしたいものだ。さて、皆さまの中には、

横浜マリナーズ
圧勝で全国大会へ!!



ついにやってきた日弁連野球の最終予選。これに勝たねば全国大会に出場することができない。重圧のかかる中、強豪の京都・熊本を連破できるのか、尾道のしまなみ球場での決戦は、厳しい戦いが予想された。

一戦目は京都。相手先発は、球は速いうえにイケメンで我がチームの女子マネにまでファン層を広げる許し難い好投手津田。対する横浜先発は、ポテチ断ちをしている割に腹のへこまない元嶋。しかし、投手は見た目で

はない。元嶋は京都を2安打完封。イケメン津田は、我らの足を絡めた攻撃に耐えきれず7失点。我らは5回コールドで京都を撃破し、第一関門を突破した。

勝負の二戦目。先発は、20年にわたりエースとして君臨するレジェンド畑中。理事者明けのためか、最近、不調との声も聞かれたが、ここ一番、エースに命運を託した。畑中对ボルケーノ熊本

の打線。全国大会で何度もお戦し、互いに相手を知り尽くす者同士の戦いは見応え十分。畑中はヒットを打たれるも要所を締めて3回無失点と先発の役割を十分に果たした。他方、横浜打線は、隙のない走塁と長打力で得点を重ね、終わってみれば11対1の大勝で全国大会の切符を手にした。

この冬おすすめ天文現象は、12月15日に極大を迎える「ふたご座流星群」。今年は月明かりもなく絶好の観測条件である。15日前後の夜、もし晴れていたら、空を見上げて願い事を。くれぐれも防寒対策はお忘れなく。

(会員 武藤 一久)

編集後記

この冬おすすめ天文現象は、12月15日に極大を迎える「ふたご座流星群」。今年は月明かりもなく絶好の観測条件である。15日前後の夜、もし晴れていたら、空を見上げて願い事を。くれぐれも防寒対策はお忘れなく。

新人弁護士奮闘記

弁護士登録して早3年10か月になる。4年目の現状と将来の展望を述べたい。

たので、得意分野の一つだ。法科大学院時代に、親族法、相続法、家族法演習(各2単位必修)できびしく訓練された。おかげさまで

弁護士4年目を迎えて

新64期 会員 坂本 真史

この分野も得意である。前職の薬剤師から弁護士に転職した動機の一つは医療関係訴訟事件に携わることであったが、なかなか案件

た。幸いボスからは、会務はどんどんやるように言われている。現在、常議員2期目を務めている。法教育委員会など4つの委員会に

判選手権」の支援弁護士を初めて経験した。今は来年予定されている法教育センター設立10周年記念イベントの準備に忙しい。これほ

ど会務に時間を割くことができるのは、ボスのおかげだ。感謝している。

今の課題は、薬剤師という専門性を仕事にいかしきれていないことだ。医療関係訴訟事件の新受件数は平成16年をピークにして減少傾向にある。今後は、

医歯薬看護学部等の学生や医療従事者に対する医療安全教育・研修などに関わるなどして、医療紛争の予防に積極的に取り組みたいと思う。

絶妙なセーフティーパントを決める鈴木貴雄

全国大会は

デスク 大関 亮子
記者 古西 達夫
新倉 武
三浦 靖彦
大崎 徹
吉田 正穂
田丸 明子

税金がおトクで
今にゆとり
年金が増えて
老後にゆとり

日本弁護士国民年金基金
国民年金にゆとりプラス。自分で入る公的な個人年金。
平成25年4月から国民年金に任意加入している60歳以上65歳未満の方も国民年金基金に加入できるようになりました。
※日本国内に住所を有する方に限ります。

資料請求・ご相談・お問い合わせはお気軽に今すぐこちらへ！
※電話によっては携帯電話からはつながりません。

日本弁護士国民年金基金
〒100-0013
東京都千代田区霞が関 1-1-3 弁護士会館 14 階
03-3581-3739
http://www.bknk.or.jp